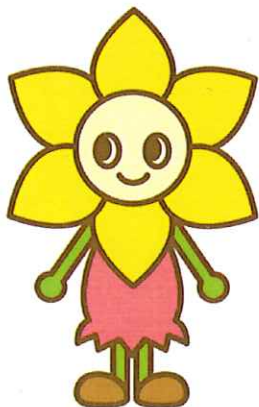


# 横浜市戸部本町地域ケアプラザ 指定管理プレゼンテーション



西区マスコットキャラクター  
「にしまろちゃん」



応募団体 理事長の坂本です。

所長の吉村です。

副所長の植村です。

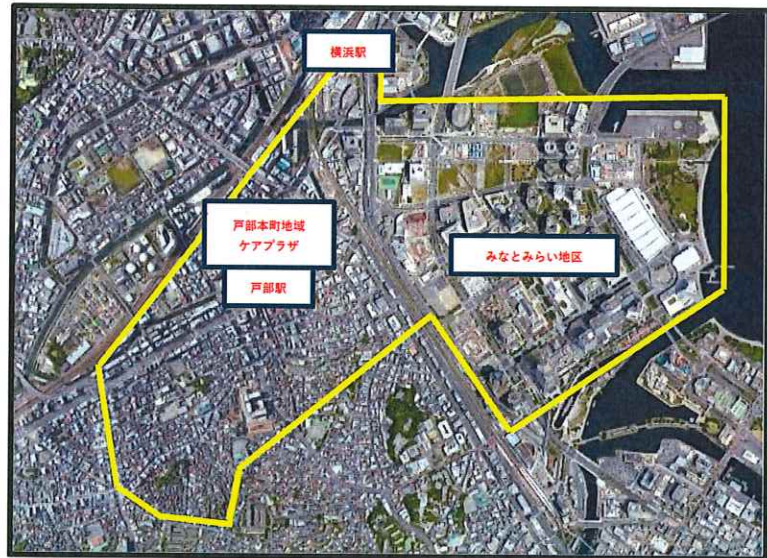
よろしくお願いいたします。

「様式2 事業計画書」の内容のうち、直接面接でご説明したい事項を  
まとめました。

## 戸部本町地域ケアプラザエリア

### <地域の特徴>

- 横浜市の中心部で生活の利便性が高く、人口が密集
- 住民の高齢化と若い子育て世代の二極化
- 地震、風水害への防災意識が高い



はじめに、戸部本町地域ケアプラザエリアの地域の特徴についてです。

当ケアプラザの担当地域は、西区はもとより横浜市の交通の中心にあり、生活の利便性も高いことから人口が密集しています。

戸建て住宅の多い地域では、住民の高齢化が進んでいます。

その一方で、横浜駅周辺・みなとみらい地区や

マンションが多い国道一号線沿いの地域では、若い子育て世帯が多く移り住み、二極化の傾向にあります。

また、浸水想定区域とされている地域を中心に、住民の防災意識が高いことが特徴として挙げられます。



## この地域の魅力

- 下町情緒を残す市街地と都心部が共存
- 由緒ある神社があり、住民のつながりも強く、お祭り行事も活発
- 親子ふれあい会や高齢者の見守り活動などが充実



桜祭り



杉山神社



水天宮平沼神社例大祭

この地域の魅力は、

下町情緒を残す市街地と、企業や商業施設が集積する都心部が共存していること、

歴史的に由緒ある杉山神社や水天宮平沼神社などがあり、古くからの住民のつながりも強く、お祭り・行事も活発です。

また、子育て支援や異世代交流、高齢者の見守り活動など、子ども、高齢者、障害児者への支援に積極的に取り組まれ、充実していることも挙げられます。

## 地域の皆様と目指していること

- 介護予防、健康づくりのお手伝い
- 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり
- 地域の誰もがつながるきっかけづくり
- 新たな地域福祉の担い手の発掘



高島中央公園での  
ラジオ体操



認知症サポーター養成講座

これまで私たちは、「にこまちプラン」の基本理念である

「住み慣れたまちで誰もがにこやかに、しあわせに、いきいきと暮らし続ける」

ことを目指し、地域の皆様とともに歩んでまいりました。

これからも、

- 介護予防、健康づくりのお手伝い
- 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり
- 地域の誰もがつながるきっかけづくり
- 新たな地域福祉の担い手の発掘

に向けて、引き続き地域・行政・関係機関等と連携しながら

取り組んでまいります。

## わたしたちの心構え

- 1 積極的に地域に出向いていきます
- 2 相談には真摯に向き合い、寄り添って対応します
- 3 所内一丸となって解決へ向けて取り組みます
- 4 地域の皆様と共に全力を尽くします



地域の皆様から必要とされ、信頼されるケアプラザであるよう

- 1 地域のサロンや行事に伺うなど、積極的に地域に出向いていきます。
- 2 些細な事柄でも気軽に相談していただけるよう、相談には真摯に向き合い、寄り添って対応します。
- 3 個別や地域の課題には、所内一丸となって解決へ向けて取り組みます。
- 4 地域の誰もが安心して暮らせるよう、地域の皆様と共に全力を尽くします。

職員・スタッフ総勢60人が互いに高めあい、支え合う風土づくりに努めます。



## 横浜市民と共に歩む団体



昭和50年4月  
ボランティアとして  
出発



昭和59年12月  
財団法人  
設立



平成9年1月  
社会福祉法人  
設立

**「できるコト、まだまだ。」合言葉**

次に団体の状況についてです。

当団体は、

- 高齢者の介護問題に関心を持った6人の主婦が「介護を社会で」という想いに突き動かされ、ボランティアとして出発
- 昭和59年には、横浜市と協力して、財団法人を設立
- 平成9年には、地域ケアプラザや老人ホーム運営のため、社会福祉法人となりました。

今日では、約4,300人の職員を擁する組織となりましたが、「できるコト、まだまだ。」を合言葉に地域の皆様とともに様々な課題解決に取り組んでいます。

## 団体の理念

お客様の  
満足



人を大切にし  
共に育ちあう  
風土



公正で  
透明感のある  
倫理



団体の理念はこちらの3点です。

- お客様の満足
- 人を大切にし、ともに育ちあう風土
- 公正で透明感のある倫理

2 団体の状況

団体の理念

お客様の満足

お客様ファースト



お客様相談室



市民公開講座

お客様にご満足いただけるよう

- お客様の直接相談やご意見をお受けする「お客様相談室」の設置
- 一般の方も参加できる市民公開講座の開催
- 災害時に備えた、事業継続計画の策定

も行っていきます。



2 団体の状況

団体の理念  
**共 育**

人を大切にし共に育ちあう風土



ふれあい  
110番



**表彰制度**

- ・詐欺未然防止
  - ・子ども虐待防止活動の継続と周知 等
- (平成30年度下半期表彰事例)

職員の心身の健康への配慮として、

- 業務上の悩みなどを相談できる電話相談室「ふれあい110番」の設置
- 平成31年4月には「横浜健康経営 クラスA」の取得
- 職員表彰制度を設ける

など、職員が高いモチベーションを持って業務に取り組めるように努めています。

<参考資料>

ふれあい110番相談件数

H30年度：28件

H29年度：17件

団体の理念

公正で透明感のある倫理

ワンチーム

—各事業所・本部のワンチーム—

地域ケアプラザ

小規模多機能  
型居宅介護

介護  
事務所

老人  
ホーム

団体本部

コンプライアンス  
推進課

サービス  
向上課

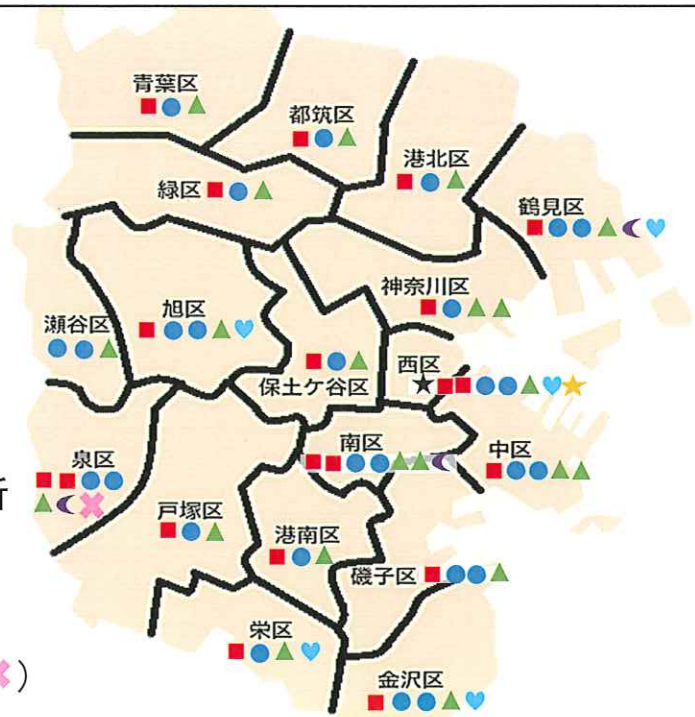
地域ケア  
推進課

研修センター  
等

業務の透明性の確保、適正な運営、職員間の情報共有など、各事業所を法人本部がバックアップするワンチーム体制があります。

## 市内全域でサービスの提供

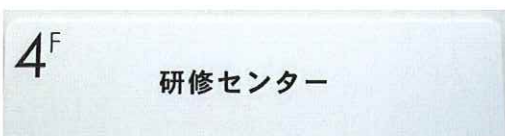
- ① 本部(★)
- ② 地域ケアプラザ(■) 20館
- ③ 訪問介護事務所(●) 27事業所
- ④ 居宅介護支援事業所 (▲)21事業所
- ⑤ 老人ホーム(◐) 3館
- ④ 訪問看護(♥) 5事業所
- ⑥ 福祉用具事業所(★)
- ⑦ 小規模多機能型居宅介護(✕)



当団体は、市内全域で20館の地域ケアプラザの運営を行うなど、各区に事業所を設け、様々な福祉サービスを提供していることから、経験を積んだ多くの介護・福祉資格を有する職員がいるスケールメリットを活かし、専門性のある職員配置をしています。



# 人財育成に力を注いでいます！



## 職員の声を踏まえた研修

管理職が委員となり、現場の意見を聞き、  
研修内容を検討



団体の本部ビル内に研修センターを設置しています。

### <参考資料>

平成30年度研修実績

総実施件数：45回

延べ実施回数：100回

延べ参加人数：3,135人（一般公開講座参加者を含む

<公開講座参加者150名>）

# 人財育成に力を注いでいます！



**採用前**

インターン  
シップ



**採用時**

採用時研修



**採用後**

フォローアップ  
3ヶ月・1年・2年



**階層別/課題別**

**職種別**

資格取得支援



**研修受講費負担制度(パート・正規職員)**

人財育成に力を注いでおり、平成30年度は45種類の研修に延べ2,900人の職員が参加し、スキルアップに努めました。

## 「居場所」から「社会参加」への取組



「布おもちゃの会」



「にっこり亭」



それでは、地域の皆様との取組の一部を紹介させていただきます。

孤立や引きこもりがちだった方にも参加して頂いている『布おもちゃの会』と、シニア男性の活躍の場『にっこり亭』です。

それぞれ、居場所から社会参加へと発展していった取組です。



## 「布おもちゃの会」のはじまり



### 介護予防講座

- ・ 布のおもちゃ作り
- ・ 全3回

もっと  
続けたいわ



### 事業の継続

- ・ 継続希望者 6人
- ・ 月2回

でも…



### 参加者の減少

- ・ 体調不良などで  
3~4人に減少



「布おもちゃの会」は、

平成25年度に地域包括支援センターの介護予防講座として実施した、『私にできること探してみよう講座』から始まりました。

全3回で終了しましたが、参加者された方より「是非、続けたい！」というお声を頂き、月2回の事業として継続しました。

しかし、体調不良になった方やシルバーカーで来られる高齢の方は雨が降ると参加できないことなどから、次第に参加者が少なくなっていました。それでも「まだまだ続けたい」という方のご要望を頂き、参加者の増加に努めました。



さて、当ケアプラザの担当地域は、利便性が良いことから子ども世帯に呼び寄せられる方もいらっしゃいます。

しかし、馴染みのない地域で知り合いもなく、孤立したり、人との交流が苦手で閉じこもりがちになる高齢者も少なくありません。

地域包括支援センターへの相談の中で、地域のシニア活動やサロンなどには参加しにくい、という方には、『布おもちゃの会』をご案内しました。

「お裁縫ならできる」「手作業は嫌いじゃない」というお一人暮らしの方や、ご自宅に閉じこもりがちの方に積極的にお声かけしました。

「介護していた夫が入所して、寂しくて何もやる気が起きない」と気落ちされている方を地域の方からご紹介いただいたり、

「同年代の人とはうまく付き合えないけど、手芸が好き」と窓口に来られた20代の方にもご案内しました。



## 「布おもちゃの会」の効果



お話しされることが苦手な高齢の方も、「無口OK」なので、作業しながら皆さんの会話を聴いて楽しめるようになりました。

作品が完成することで達成感が得られ、徐々に会話も弾むようになり、緩やかな交流の場となりました。

「ここに来るのが楽しみ」「できあがるとうれしい」と前向きな、明るい感想もいただきました。

『布おもちゃの会』がその方にとって貴重な居場所となり、社会参加へつながるなど、様々な効果がみられました。



## 福祉活動の場の提供



保育園



西区自立支援協議会の余暇支援



第5地区  
親子ふれあい会



こうしてできたたくさんの布おもちゃは、保育園や地域の「親子ふれあい会」などにお届けしました。

また、西区自立支援協議会の余暇支援では、障害のある方々に布おもちゃの会が作った「鬼の的あて」を楽しんでいただきました。「障害者が使うので布のボールに鈴を入れてほしい」といったご要望にもお応えしました。

「居場所」から「やりがい」へ



他にも、布えほんや西区内の4つの地域ケアプラザの共催事業記念品「にしぷらちゃん」ストラップ、認知症サポーターのロバ隊長を作成し、提供して頂きました。

また、この事業を知った関係機関を通じ、神奈川県NPO協働推進課のマスコットキャラクター「ミニかにやお」のぬいぐるみの作成も依頼されました。

皆さんで協力し、作品を完成させ、喜ばれることで、やりがいを感じていただけたようです。

## 「居場所」から「社会参加」へ



こんなにたくさん  
作って頂きました



かわいい“ぞう”と“あひる”の  
おもちゃありがとう！



放課後等デイサービス

障害児の放課後デイサービスからは、  
「人工呼吸器をつけた障害のある子どもが、握れる太さのおもちゃを  
作ってほしい」とのご相談がありました。

ぬくもりのある手作りのおもちゃを喜んでいただき、職員の方から  
メッセージの入った写真を届けていただきました。  
右側がその写真です。子どもたちからの心のこもったメッセージに  
益々意欲がわいたようです。



## 活動の発展

感謝されると  
意欲がわきます

生きがいを  
みつけました



まだお役にたてる  
ことがあるなら  
うれしいです

布おもちゃの会に  
出合え心豊かな  
時をワクワクしながら  
すごすとができて  
ありがとうございます。

つるし雛をデイサービスにお届けしました

この活動を知って、裁縫に興味のある参加者が徐々に増えて活性化し、自主的に活動されています。参加者は現在では10名に増えました。

楽しみながら、人のお役に立てるなら・・・と皆さん大変前向きです。

『布おもちゃの会』は、ボランティア活動を通じた高齢者の社会参加や役割を実感できる場でもあります。

地域ケアプラザは、福祉活動の場を提供し、地域の方の自主的な活動がより盛んとなるように支援していきます。

団塊世代の男性の活躍  
「にっこり亭」のはじまり



「アクティブシニアのはりきりクッキング」

平成27年度開始 毎月1回 15名

団塊世代の男性を対象とした

『アクティブシニアのはりきりクッキング』は、月1回、15名が参加し、ホテルの元総料理長である地域住民の方から、本格的な洋食を学んでいます。

これまで地域と繋がりのなかった男性も、料理の習得とともに地域での仲間づくりができました。

翌年からは、異世代交流会や障害者余暇支援の場、家族介護者の集い等で腕を振るって頂き、担い手として福祉活動を広げています。



## 洋食の会食会 「にっこり亭」



料理講座

(はりきりクッキング)

仲間づくり

福祉活動

(にっこり亭)



そして、参加者から「ボランティアをしようか！」とのご提案があり、平成29年度からは、「にっこり亭」と名づけて、洋食のフルコースを800円で提供する会食会を開催することになりました。

こちらは年に4回、開催をしています。

料理長の方針で「料理を提供する人は蝶ネクタイを」と決め、優雅な雰囲気とホテルの味を楽しんでいただいています。



## 洋食の会食会 「にっこり亭」



地域の高齢者



保育園のママ会



地域の高齢者や家族介護者、子育て世代等、各回約20名をご案内し、「高級レストランに来たようだ」と大変好評です。

普段なかなか外食することのできない男性介護者の方からは、「プリン・ア・ラ・モードを何十年かぶりに食べて、とてもおいしかった」とのご感想をいただきました。

また、この活動をきっかけに地域の子ども食堂などの担い手となる方もいらっしゃいます。

シニア男性が趣味を持ち、その趣味を通して仲間と繋がり、そして更に活躍の場を広げられ、特色ある地域の担い手となって活動されています。

## 今後も地域の皆様と取り組みたいこと



このように、ケアプラザの事業が広がりを持つことができたのも、日頃より地域の皆さまとの繋がりがあったからこそです。

様々な方がケアプラザに来られ、活動に参加され、そして地域の福祉活動を一緒に支えてくださるような、そんな繋がりをこれからも大切にしていきたいと考えています。

地域ケアプラザは、地域の皆さま、活動団体の方々、ボランティアの皆様、障害や子育てなどの関係機関と連携し、ご協力をいただきながら今後も様々な活動に取り組んでまいります。

地域の皆様と共に

歩んでいきたいと願っています



「できるコト、

まだまだ。」

「できるコト、まだまだ。」を合言葉に、

職員一同、地域の皆様とともに歩んでいきたいと願っております。